

解 答 速 報

久留米大学 医学部(推薦) 英語

2021年 11月20日実施

1	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)				
	(b)	(b)	(a)	(c)	(d)	(c)	(d)	(d)				
2	(1)	(2)										
	(b)	(d)										
3	(1)			(2)			(3)			(4)		
	1	3	6	1	3	6	1	3	6	1	3	6
	(b)	(a)	(f)	(b)	(f)	(e)	(e)	(c)	(d)	(c)	(a)	(d)
4	1.						2.					
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)						
	(a)	(b)	(d)	(b)	(b)	(b)	(c)	(d)	(h)			
5	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)							
	(c)	(a)	(c)	(c)	(a)							

<解説>

1 文法・語法4択

- (1) (b) companionship: 「高齢者の社会的孤立は我々の社会で深刻な問題となっている。ペットは高齢者に愛、喜び、長きに渡る繋がりを与えてくれる」
 companionship: 「仲間付き合い、交際、(友人やペットと)一緒にいること」
 (a) association: 「(人と人の)関係、協会」、(c) membership: 「会員(権)」、(d) foundation: 「基礎、土台、財団、創設」。
- (2) (b) mediate: 「幸いなことに、2人以上の当事者間の紛争を調停し解決するよう努める個人や団体が存在する」
 mediate: 「～を調停する、～を仲介して成立させる」
 (a) intoxicate: 「～を酔わせる、～を夢中にさせる、～を中毒させる」、(c) prolong: 「～を引き伸ばす、～を延長する」、(d) tolerate: 「～を許す、～に耐える」
- (3) (a) cumulative: 「行政の予測に反し、財政支援計画の蓄積効果でさえも些細なものであると判明した」
 cumulative: 「次第に増加する、累積的な」
 (b) intrinsic: 「～に固有の、内部にある」、(c) susceptible: 「影響を受けやすい、感染しやすい、敏感な」、(d) urinary: 「尿の、泌尿器の」
- (4) (c) prevalence: 「この地域にはギャンブルに関する深刻な問題を抱える成人人口の割合が12%以上にのぼる。このようにギャンブル依存症が蔓延していることは、この地域の役人にとっては些細な問題ではない」
 prevalence: 「普及、流行、蔓延」
 (a) abdomen: 「腹部、腹腔」、(b) exclusion: 「除外、排除」、(d) sodium: 「ナトリウム、ソジウム」
- (5) (d) threshold: 「研究関心を共有するコミュニティは通常、統計的検定の帰無仮説を容認するか否定するかの境界をどこで設定すべきかに関する共通の認識を有している」
 threshold: 「敷居、出発点、境界、限界点、関」
 (a) discharge: 「～を解放する、～を免除する、～を放出する、～を解雇する」、(b) hazard: 「危険要素」、(c) residue: 「残り、残留物」
- (6) (c) neural: 「行動レベルと神経レベルの両方から得られるデータを統合することは、精神機能の仕組みを完全に理解するための第一歩である」
 neural: 「神経の」
 (a) compliant: 「言いなりになる、従っている」、(b) dehydrated: 「脱水状態の」、(d) traumatic: 「心的外傷となる、ショッキングな、心的外傷治療用の」
- (7) (d) substantially: 「県当局による命令は、住民が屋内の娯楽活動に参加する機会を制限するのみならず、閉鎖された作業空間の中で住民が交流の務めを全うする能力を著しく妨げる恐れがある」
 substantially: 「かなり、実質的に、基本的に」
 (a) compositionally: 「組成的に」、(b) insufficiently: 「不十分に」、(c) molecularly: 「分子的に」
- (8) (d) replication: 「データ収集の新たな手法を導入したり、新たな変数を採用したりする研究を行う人もいるが、研究分野における重要な過去の研究から基本的に同じ方法論を採用する再現研究の価値を、研究者はますます認識しつつある」
 replication: 「複製、再現、(DNAなどの)自己複製」
 (a) deviation: 「逸脱、偏差」、(b) infusion: 「注入、点滴投与」、(c) lesion: 「傷害、病変」

2 不要文削除

- (1) 第1文より、段落の主題は「ロックダウンの緩和」だとわかる。(a)は政府によるロックダウン解除のロードマップの内容として、最初に不要不急の店舗や施設が再開されるということについて書かれており、(c)以降の文はそれらの施設や店舗の再開だけでなく、グループでの宿泊も認められるということについて書かれている。(a)と(c)以降の文は、ともにロックダウン緩和の具体的内容を指し、(c)以降の文は(a)の内容を「追加」する関係となる。一方で、この間にある(b)「この日は、ある特定の理由で、忌まわしい一日として記憶されることになるだろう」であるが、後に「忌まわしい一日として記憶される」理由を説明する文が見当たらないことと、先述の(a)と(c)以降の文との論理関係から、この文が文章の流れを不自然に断ち切っている形になっている。また(a)の“Monday 12 April”を指すと考えられる語句について、(b)で“This day”と(c)で“this date”とが併記されている状態であり、これもまた不自然である。したがって、(b)が不要である。

<全訳>

3月29日へのカウントダウンは興奮させるものであったに違いない、というのもロックダウンを緩和する文字通りの第一段階の合図となるからで、その際に6人グループか2世帯での外出が最終的に許可されるのだ。政府によるロックダウンのロードマップによると、4月12日月曜日には屋外でのサービス同様に不要不急の店舗やジムや美容室が再開される予定だ。しかしそれが全てではない。なぜならこの日から宿泊に出かけることが再び認められるからだ。この規定により明文化されているのは、同一世帯の家族かサポート・バブルに属する人と、(例えば貸しコテージ、貸し部屋、トレーラーハウス用駐車場、キャンプ場のような)独立した宿泊施設で日をまたぐ滞在をすることが許可されるということである。ホテルやホステルやホリデーパークは、その規定の下では5月17日に再開する見通しだ。

不要文：「この日は、ある特定の理由で、忌まわしい一日として記憶されることになるだろう」

- (2) (d)はナミビア（アフリカ南西部の国家）とは異なるカナダにおいて、企業が化学物質の漏出を防ぐことのできない防壁でピットを裏打ちする、すなわち環境破壊を行うことが標準的な業界慣行であるという内容は、(c)で述べられたピットの存在意義と照らし合わせると不適切である。(a)は様々な動物の名前が出てきており、一見第1文及び(b)以降と関係性がないように思えるが、懸念される環境への悪影響の一例として挙げているのであり、本文の文脈から逸脱しているとまでは言えない。したがって、(d)が不要である。

<全訳>

ナミビアは水不足の国であり、同社の計画に関するニュースが広まると、掘削作業による汚染物質が飲料水や作物用の農業水を供給する浅い帯水層に染み込んでしまうという懸念を地域社会は表明した。保護活動家達は、検査掘削による汚染が、近くの野生生物（ゾウ、サバンナセンザンコウ、リカオン、ゴマバラワシ）や、約160マイル下流のユネスコ認定のオカバンゴ・デルタに影響を与えかねないことについても懸念している。ReconAfricaが1月10日にウェブサイト投稿したビデオには、最初の検査用の穴のすぐ近くに、巨大な廃棄物用ピット、泥溜め用ピットが写っている。

このようなピットは、石油や天然ガスを掘削する際に発生する、危険な化学物質を含んでいたり、塩分濃度が高くなっている可能性のある泥、液体、その他の物質を貯蔵するためのものである。

不要文：「ReconAfricaの拠点でもある、カナダのブリティッシュコロンビア州では、化学物質が土壌や地下水に漏出するのを完全には防ぐことのできない、浸透性の防壁でこれらのピットを裏打ちするのが標準的な業界慣行である」

3 語句整序

- (1) (Their model, which was published in ~,) **is innovative because** it goes beyond **musculoskeletal issues and** address how physical therapists can assist people across their life span behavior in life **from neonatal to hospice settings**(.)

(d)に含まれる **beyond** は前置詞なので、その後に続くのは “musculoskeletal issues” から始まる(a) となり、また(e)に含まれる **can** は助動詞なので、その後に続くのは動詞の原形 **assist** から始まる(c)となる。まず “Their model” を S とする主文と(b)に含まれる接続詞 **because** が作る節をイメージする。“Their model” に続くのは三人単数の **s** を伴う(b)が内容からも妥当である。次に **because** 節内の S を考えるにあたって(a)に含まれる等位接続詞が並列するもの考えると三人称単数の **s** を伴う(b)の **goes** と(e)の **addresses** であるとわかる。最後に(f) **from neonatal to hospice setting** は、(c)に含まれる “~across lifespan” の内容を説明したものであり、その後に続くことがわかる。

- (2) (For instance,) **physical therapists can help prevent** neonatal abstinence syndrome in newborns by **making it easier** for pregnant women to manage their aches **and pains without using drugs**(.)

第2段落第2文を参考にすると、(d)に含まれる前置詞 **by** には(f) **making** が続くことが予想できる。(f) **making it easier** には形式目的語 **it** の内容をあらかず(e) **for pregnant women to** (a) **manage their aches** という **to** 不定詞が続くことが予想できる。(e)に含まれる等位接続詞 **and** が並列するもの考えると(a)に含まれる **aches** と(e)の **pains** と予想でき、動詞を含む(b) **physical therapists can help prevent** から始まることがわかる。

- (3) (All of the) **programs are stored** electronically so that as students **make their way through their rotations, they** can access each other’s programs and work with their own clinical **supervisors to tailor them to the communities** (they are serving.)

第3段落の内容を参考にすると “All of the” の後には、(e) **programs are stored** が続くことが予想できる。その後には接続詞等が必要なので接続詞 **so that** を含む(a) **electronically so that as** が続くことになる。**so that** の後に接続詞 **as** があることから節内にさらに副詞節があることが予想でき、(c) **make their way through their rotations, they** を続ければ、**they** が **that** 節内の S になる。これに続くのは助動詞 **can** から始まる(b) **can access each other’s** となるが、所有格の代名詞 **other’s** は(f) **programs** に続く。(f)に含まれる等位接続詞 **and** は、(b) **access** と(f)に含まれる **work** という原形不定詞を並列しており、(f)に含まれる形容詞 **clinical** は(d)に含まれる **supervisors** を修飾している。また最後にある “they are serving” という関係代名詞節が(d)に含まれる **communities** を先行詞とする予想とも合致する。

- (4) (People) **from this area are** more likely to die prematurely **than people who live** elsewhere in the United States, and drug-related deaths **are a main reason for this disparity**(, reports the Appalachian Regional Commission.)

まず、文頭の **People** に対応する述語動詞を探す。(c)と(d)にそれぞれ **are** があるが、(d)は直後に “a main reason” とあることから **People** に対する述語動詞として不適切であるため、(c)を述語動詞として設定する。次に、(c)の **are** に続くこととして(e) **more likely to die prematurely** が当てはまる。さらに、“more likely” の比較対象として、(a) **than people who live** が続き、**live** の後に場所の副詞句を表す (f) **elsewhere in the United States, and** が続く判断できる。最後に、(f) の **and** の後の語順を確定させるわけだが、(b) **drug-related deaths** を、(d) **are a main reason for this disparity** の主語と捉えることで文構造が成り立ち、内容としても問題なく成立する。

4 長文読解

1. [空所補充]

(1) (a) Which microbes are present in your mouth (**depends**) on who you are dating.

「口腔内にどの微生物が存在するかは、誰とデートするかによって決まる」

(b) adopt(s) は「採用する、養子に取る」、(c) accept(s) は「受け入れる」、(d) address(es) は「話しかける、取り組む」。この空所では、前置詞 on と共起する動詞が必要であり、文内容からも depends が入るべきことが予想できる。

(2) (b) For example, some microbes will keep thrush at bay, which is a yeast infection that can (**affect**) the mouth.

「例えば、口腔カンジダ症を食い止めてくれる細菌もいる。口腔カンジダ症は口腔を冒しうるイースト感染症である」

(a) inspect は「調査する、視察する」、(c) deflect は「屈折させる、ゆがめる」、(d) protect は「保護する、守る」。which 以下の関係詞節では thrush という疾患を説明している。“a yeast infection” は口腔に害を及ぼすものと予想できる。なお、affect には「影響を及ぼす」というニュートラルな意味だけでなく、病気などが人を「冒す、襲う」という意味もある。

(3) (d) Cavities (**occur**) when the balance of what is in your mouth is not maintained well.

「虫歯が生じるのは、口腔内にあるもののバランスが正しく維持されていない時である」

(a) keep は「保つ、維持する」、(b) concur は「一致する」、(c) steep は「浸かる、しみ出る」。この空所を含む第4段落第1文以降、第6段落までの本文では、口腔内でのどのような事象により虫歯が生じるかが説明されている。そうした文章構造の理解が根拠となるが、単純に選択肢の中で空所に入れて意味が成り立つものは (d) しかないだろう。

(4) (b) When you eat ~, you are not the (**only**) one getting a sugar hit.

「～を食べる時、糖分を得ているのはあなただけではない」

(b) some, (c) any, については定冠詞 the と共起しないので除外できる。(d) other を入れたとすると “the other one” 「他方の～」という意味なるが、文全体として意味が成り立たない。only を入れることで、シンプルに「あなただけが糖分を得ているわけではない」という内容が成立し、後に続く1文 “Bad microbes also love sugar.” とつながる。

(5) (b) (**Furthermore**), we know now that teeth and gum diseases, left untreated, can cause all sorts of diseases in other parts of the body, too.

「さらには、歯と歯槽の疾患を治療しないままにしておくと、それらは体の他の部分でもあらゆる種類の疾患を引き起こしうる、ということが現在では理解されている」

文構造から1語の副詞が必要であることがわかる。(b) 以外は接続詞であるので除外できる。

(6) (b) So (**stay**) healthy, and brush and floss your teeth on a daily basis.

「だから健康を保ち、日々歯を磨き、フロスで掃除するようにしよう」

(a) store は「蓄える」、(c) steer は「操縦する、進路を取る」、(d) strum は「かき鳴らす、つま弾く」。後には healthy という形容詞があるので、第2文型をとることのできる動詞が必要だとわかる。

2. [内容一致]

(a) 「口腔内の細菌バランスは自然と回復しうる」

第6段落第3文以降の内容に反する。それらのおよその意味は「もし歯を磨いたり、フロスで掃除したりしなければ、これらの酸は善玉菌をも殺すことになる。この変化により口腔内のバランスが変化し、真菌が成長する原因となり、虫歯になる」である。

(b) 「口腔衛生を良好に保っていれば、口腔から全ての細菌を取り除くことになるだろう」

第1段落第1文に反する。その1文のおよその意味は「どんなによく歯を磨いても、口の中は細菌で満たされている」である。

(c) 「口腔の衛生状態が悪いと、重度の肺感染症を引き起こしうる」

最終段落第3文に合致する。その1文のおよその意味は「口腔内の腐敗により、人は脳、心臓、そして肺の感染症リスクにさらされる可能性がある」である。“serious”に該当する記述は見当たらないが、大きく本文の内容に反するとは言えない。

(d) 「同一のバイオフィーム内の細菌は物質を交換することができる」

第5段落第2文に合致する。その1文のおよその意味は「想像しがたいことではあるが、異なる細菌は実際に分子シグナルをやり取りしており、遺伝物質さえも交換している」である。

(e) 「歯垢とは、それぞれの歯の表面に付着した糖である」

第4段落第3, 4文に反する。それらのおよその意味は「量が少なければ、このマトリックスは、単にバイオフィームといえる。バイオフィームとは口腔表面に付着した様々な細菌のコミュニティである。大半の人々はそれを歯垢と理解している」である。

(f) 「口腔内の細菌の大半は歯科疾患の原因となる」

第2段落全体の内容に反する。同段落第1, 2文では、細菌の中には無害もしくはむしろ益をもたらす細菌について、続く第3文では害をもたらす細菌について述べられている。それらの記述から細菌の「大半」が疾患の原因になるという根拠は見出せない。

(g) 「人々はただキスをするだけで細菌を交換することはできない」

第2段落第2文の内容に反する。その1文のおよその意味は「よく言われるように、フレンチ・キスを10秒続ける毎に口腔から口腔へと8000万ほどの細菌が交換されている」である。

(h) 「健康な口腔では善玉菌と悪玉菌のバランスが取れている」

第3段落最終文に合致する。その1文のおよその意味は「まだ分かっていないことも多いが、健康な口腔には細菌の良好なバランス、つまり善玉菌と悪玉菌が必要であることが、現在明らかになっている」である。

5 長文読解

1. Choose the phrase that fits best in the () in the article.

「本文中の()に入れるのに最も適した単語を選べ」

答えは(c)の **has paid off** である。その1文のおよその意味は「最近の調査では、その活動はすべて成果を上げたと示されている。今日1,864頭のパンダが生息しており、1970年代後半の1,000頭より増えている」

空所のある文の主語となる“all that effort”の内容を確認する。第1段落第1文、第2文で中国においてジャイアントパンダの保護活動を行われたということについて述べられているので、ここでの“that effort”はジャイアントパンダの保護活動だとわかる。そして空所直後の第1段落第4文でその結果ジャイアントパンダの頭数が増加したとある。従ってその活動は **has paid off** 「成果を上げた」ということが分かる。

2. According to the article, what did the new study find about panda conservation?

「本文によると、パンダの保護について新しい研究で分かったことは何か」

正解は(a)の「パンダ生息域において、ヒョウやオオカミの数が著しく減少した」である。第2段落第2文“After studying images from camera traps over ten years, they found that large carnivores — the leopard, snow leopard, wolf and dhole (an Asian wild dog) — have retreated from where giant pandas have thrived.”で“the leopard, snow leopard, wolf and dhole (an Asian wild dog)”のような肉食動物がジャイアントパンダの生息地から去っていったということがわかり、続く第3文前半“Their numbers appear to have fallen significantly in these panda reserves,”で、ジャイアントパンダの生息域においてその肉食動物の数が激減したことが分かる。

3. According to the article, which of the following ideas is widely supported among conservationists today?

「本文によると、以下の意見のうち、今日の自然保護論者の中で幅広く支持されているものはどれか」

選択肢(c)の「生態系の重要性に対する世間の関心を高める」が正解である。第4段落第6文“Today, conservationists place much greater emphasis on protecting ecosystems and entire landscapes.”から、今日の自然保護論者が重要視しているのは生態系と自然全体を守ることであるということが分かる。

4. What is the author's purpose of discussing the human body?

「筆者が人体について論じている目的は何か」

第6段落第1文では、“The lesson from both analogies is that all components and the roles they perform are necessary for keeping the whole functional and healthy.”とあり、2つの喩えから引き出される教訓として、すべての要素とその果たす役割は、集合全体の機能性と健全性を保つために必要であるということが分かる。この2つの喩えのうちの1つが人体のことである。従って、答えは(c)の「すべての要素は生態系の中で機能しなくてはならないということを主張するため」である。

5. Choose the CORRECT statement about the article.

「本文について合致する説明を選べ」

第2段落第4文では、“Panda conservation doesn't appear to be benefiting other species, or the wider ecosystem.”とあり、パンダの保護が他の動物種や生態系の利益には繋がっていないということが窺える。従って、選択肢(a)“Giant panda conservation seems to fail to benefit the wider ecosystem.”「ジャイアントパンダの保護は広範な生態系に恩恵をもたらしてはいないようだ」の記述は正しい。

講評

- | | | | |
|---|-----------|-------|---|
| 1 | [文法・語法四択] | (やや難) | 選択肢の中には受験生にとって馴染みのない語彙も含まれている。持ち合わせた知識を駆使してとれるところを確実に得点にできたかどうかポイントである。 |
| 2 | [不要文排除] | (やや難) | 一部論理関係が掴みにくく、判断に迷う設問が含まれる。 |
| 3 | [文中語句整序] | (標準) | 「運動療法によるオピオイド中毒治療」に関する英文。文章の内容理解を伴うことで取り組み易くはなるが、文構造並びに品詞を意識して論理的なアプローチを行わないと時間を要する。 |
| 4 | [長文総合] | (やや易) | 「口腔内の細菌バランスと疾患」に関する英文。医学部の入試で歯科疾患に関する英文が取り上げられることは多くはないが、特に専門性が高いものではなく、素直に読んで正解を選べる良問。 |
| 5 | [長文内容一致] | (やや易) | 「特定の種を保護することによる生態系のバランス崩壊」に関する英文。選択肢は比較的選びやすく、文章内容もわかりやすい。 |

大問2が難化。大問4と5は昨年度よりも解きやすい。それらの大問で確実に得点し、大問3の語句整序でどれだけ得点を稼ぐことができるかがポイントである。目標は70%。

メルマガ無料登録で全教科配信！ 本解答速報の内容に関するお問合せは… メビオ ☎0120-146-156 まで

<p>医学部進学予備校</p> <p>メビオ</p> <p>☎0120-146-156 受付 9~21時(土日祝可・携帯からOK) 大阪市中央区石町 2-3-12 ベルヴォア天満橋</p> <p>https://www.mebio.co.jp/</p>	<p>医学部専門予備校</p> <p>YMS</p> <p>heart of medicine</p> <p>☎03-3370-0410 受付 8~20時(土日祝可) 東京都渋谷区代々木 1-37-14</p> <p>https://yms.ne.jp/</p>	<p>医学部専門予備校</p> <p>英進館メビオ</p> <p>福岡校</p> <p>☎0120-192-215 福岡市中央区渡辺通 4-8-20 英進館 天神本館新2号館2階</p> <p>https://www.mebio-eishinkan.com/</p>
--	---	---